評 価 結 果 概 要 表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104738
法人名	有限会社　こころ
事業所名	グループホーム　里山
所在地	松山市鷹子町乙402-9
自己評価作成日	平成21年10月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3　チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

○スタッフ間の仲が良く連携が取れており、毎日笑顔で仕事に努めている。
○3時のおやつは手作り、出来たての物を提供している。また、お餅等利用者が得意な物に関しては、一緒に作って頂いたりもしている。
○栄養がある、美味しい物の手作りに心掛けている。
○スタッフと利用者とが家族のような部分があり、お腹の底から笑い合って、心が通じ合っている。
○コミュニケーションを図る行事が年々増えて、利用者が喜ばれている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●近くの公園で行われる地区の盆踊り時には、事業所で「ヨーヨー釣りコーナー」を出店され、利用者は子どもたちとのふれ合いを喜ばれた。事業所の敬老会は、地域の独居生活をしている高齢者の方を招待してビンゴゲームをされたり、紅白饅頭を食べながら、ともに楽しい時間を過ごされた。「地域の行事への参加を通じて事業所や認知症についての理解が深まってきている」と感じておられた。
●ご自宅で使っていたお茶碗で食事をされている方もある。配膳や下膳をされている方もある。利用者の希望するメニューをお聞きして職員が献立を作っておられる。野菜は事業所の畑で採れたものも使用して、おやつも、出来るかぎり、手作りに心がけておられる。おもちが好きな方には、職員が付き添って様子を見ながら食べられるように支援されている。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）

※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）		1．ほぼ全ての利用者の
		○	**2．利用者の２/３くらいの**
			3．利用者の１/３くらいの
			4．ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	**1．毎日ある**
			2．数日に１回程度ある
			3．たまにある
			4．ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）		1．ほぼ全ての利用者が
		○	**2．利用者の２/３くらいが**
			3．利用者の１/３くらいが
			4．ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	**1．ほぼ全ての利用者が**
			2．利用者の２/３くらいが
			3．利用者の１/３くらいが
			4．ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1．ほぼ全ての利用者が
			2．利用者の２/３くらいが
		○	**3．利用者の１/３くらいが**
			4．ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	**1．ほぼ全ての利用者が**
			2．利用者の２/３くらいが
			3．利用者の１/３くらいが
			4．ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）		1．ほぼ全ての利用者が
		○	**2．利用者の２/３くらいが**
			3．利用者の１/３くらいが
			4．ほとんどいない

項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）		1．ほぼ全ての家族と
		○	**2．家族の２/３くらいと**
			3．家族の１/３くらいと
			4．ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1．ほぼ毎日のように
		○	**2．数日に1回程度**
			3．たまに
			4．ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1．大いに増えている
		○	**2．少しずつ増えている**
			3．あまり増えていない
			4．全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）		1．ほぼ全ての職員が
		○	**2．職員の２/３くらいが**
			3．職員の１/３くらいが
			4．ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1．ほぼ全ての利用者が
		○	**2．利用者の２/３くらいが**
			3．利用者の１/３くらいが
			4．ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1．ほぼ全ての家族等が
		○	**2．家族等の２/３くらいが**
			3．家族等の１/３くらいが
			4．ほとんどできていない

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居（ユニット）ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

（注） 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

●家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
（他に「家族」に限定する項目がある）

●運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）。

●職　員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

●チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をＰＲ!!!

ーサービス向上への３ステップー

事業所名	グループホーム里山
(ユニット名)	空
記入者（管理者）	
氏　名	竹本　亜矢
評価完了日	平成21年10月21日

グループホーム里山(空)

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	**(自己評価)** 以前からの理念に地域密着型の考えを追加し、玄関先に掲示している。また、毎朝理念を声に出して理解し、理念に従って業務を行うよう努めている。 **(外部評価)** 安らぎのある暮らしを「地域と共に支えます」と、もとの理念に追加して地域との交流に積極的に取り組んでおられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	**(自己評価)** 近所の方々とすれ違った時の挨拶はもちろん、運営推進会議を開き、関わりを持てるよう努めている。地域行事には積極的に参加し、こちらで行事がある際は、参加の呼びかけをさせて頂いている。 **(外部評価)** 近くの公園で行われる地区の盆踊り時には、事業所で「ヨーヨー釣りコーナー」を出店され、利用者は子どもたちとのふれ合いを喜ばれた。事業所の敬老会は、地域の独居生活をしている高齢者の方を招待してビンゴゲームをされたり、紅白饅頭を食べながら、ともに楽しい時間を過ごされた。「地域の行事への参加を通じて事業所や認知症についての理解が深まってきている」と感じておられた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	**(自己評価)** 地域の勉強会の講師役での参加や、電話や相談に来られた方への相談に応じている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	**(自己評価)** 運営推進会議では、利用者様や家族の方に参加して頂き、出された意見や要望を基にサービスの向上に努めている。 **(外部評価)** ２階ユニットで会議を開催されている。地域包括支援センターの担当者の方や地域の方、ご家族等も参加されており、ご家族からは、利用者ご本人を家族がホーム外に連れ出す時の注意事項について質問があり、アドバイスをされた。	地域の方からも提案があり、事業所では、会議時に認知症の勉強会も行いたいと考えておられる。又、市の担当者の方にも出席いただけるよう案内を工夫されたり、より多くの方に来ていただけるような議題等にも工夫を重ねていかれてほしい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	**(自己評価)** 市町村担当者が当ホームの運営推進会議に参加して下さいませんので、相談事はこちらから電話でさせてもらっている。 **(外部評価)** 生活保護を受給されている利用者の生活について市の担当者と相談しながら支援されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	**(自己評価)** ある程度は身体拘束を理解し、拘束が無いよう取り組んでいる。鍵をかける事はせず、本人の行動を重視したケアを行っている。 **(外部評価)** 入居時には、ご家族にも「身体拘束はしない」ことを伝えておられる。調査訪問時、玄関は旋錠されていなかつた。又、裏口は鈴を付けて、出入りが分かるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	**(自己評価)** 勉強会やミーティングで話し合い、虐待が無いように声掛け等している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	**(自己評価)** 時折はこれらの事について学ぶ機会はあるが、現状では十分ではないと思われる。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	**(自己評価)** 契約・解約共に十分話し合った上で行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	**(自己評価)** 運営推進会議や他の施設と情報交換出来る際に、それらを提示し、意見を出し、取り込んでいる。 **(外部評価)** ご家族から「職員の名前が分からない」というようなご意見があり、職員は名札を付けるようにされた。 又、横書き名札は利用者が反対から読まれることがあるようで、縦書きの名札に替えられている。運営推進会議の後には、ご家族同士でお話しする時間を取るようにされており、「家族参加の行事を増やして欲しい」との要望も出されており、事業所で検討をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容（外部評価のみ）
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月１回、スタッフミーティングを行い、話し合いの機会を設けている。 (外部評価) 職員それぞれに、担当の係があり、責任を持って業務に取り組まれている。	さらに今後も、職員の研修を重ね、個々のスキルアップからさらなる事業所のケアの質向上につなげていかれることが期待される。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 研修等に参加したり、他のグループホームと情報交換することにより、向上心をもてるようにしています。また、人事考課を取り入れている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修などには積極的に参加し、参加したスタッフはそれらを他のスタッフに伝えている。 業務中分からない事があれば上司に聞き、必要があれば勉強会を開いている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 交流会には毎回数人のスタッフが参加し、その場で話し合った情報を他のスタッフに伝えて、取り入れている。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人自身から話を聞き、要望に答えられるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族から意見を聞き、要望に答えれるよう努力している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要としている支援を見極め、本人・家族が満足されるように心掛け、サービスの対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) レクリエーション等を共に行ったり、行事の際必要なものを一緒に作ったりしている。 又、料理等の際は利用者の意見を聞き、それを基に料理することもある。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事などの際は家族の方に連絡をし、参加出来る時は参加して頂き、利用者と関わる機会を持ってもらっている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 訪問者がいつでも気軽に面会が出来る様な雰囲気作りと、訪問さられた時は、ゆっくり過ごして頂けるよう配慮している。 (外部評価) お友達が訪ねて来られ居間でおしゃべりされたり、知人宅に遊びに行かれる際にも職員が同行されている。 お墓参りにご家族と一緒に行かれた方もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 食事やおやつ以外でも自然にリビングに集い、レクリエーションや談笑を共に楽しんだり、関わりを持つ機会を作っている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 定期に家族と連絡を取り、契約が終了してもその方の状況等を教えて頂いている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の要望を把握し、それらに向けて実行出来ているかどうか毎日チェックしている。 (外部評価) 毎日の申し送り事項に「１歩でも歩きたい」「トイレは自分で行きたい」というような、ご本人の希望や要望を記入されており。全職員で共有して支援できるよう努めておられる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 使い慣れた家具等を持ち込んで頂く事で、住み慣れた環境で生活出来るようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日の過ごし方を記録に残し、心身状態の変化の早期発見に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	**(自己評価)** 本人の求めるケアを聞き、それらを毎日の目標とし、実行出来ているか毎日チェックしている。それを毎月月末に介護計画についての見直しをし、毎回その方に合った介護計画を作成している。 **(外部評価)** ご本人の希望を担当職員が聞き取り、又、運営推進会議や行事時等にご家族が事業所来られる際に要望等をお聞きして、介護計画に反映されている。介護計画に沿って援助計画を作成し、チェック表で計画内容を点検され、見直しされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	**(自己評価)** 日々の様子やケアなどを毎日記録し、情報の共有を図っているものの、上手くスタッフ間で繋がらない事もある。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	**(自己評価)** 個々のニーズを把握し、その時々の問題が解決できような柔軟な支援やサービスが行なえるように、心がけている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	**(自己評価)** 消防などの協力を得て、防災訓練や救急救命の訓練を行っている。また、地域ボランティアの方にお願いして、レクリエーションを楽しんでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容（外部評価のみ）
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人の希望によってはこちらで掛かり付け医を紹介する事もある。 （２４時間対応が困難な場合など） (外部評価) 協力医は、1ヶ月に2回往診に来てくれるようになっている。訪問マッサージを利用されている方もある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 看護職員と相談しながらケアプラン等を立て、支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 主治医と話す機会を持ち、施設内で対応可能な段階でなるべく早く退院出来る様努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 早い段階から話し合うようにし、かかりつけ医の往診を受け、急変時に適切に対応出来るよう連携をとっている。 (外部評価) 「出来る限りホームで過ごさせてあげたい」と希望されるご家族が多くあり、事業所では現在、看取り指針を作成中である。事業所では、終末期の延命治療のことや、ホーム以外の受け入れ先の希望等を書いてもらうようにされており、ご本人の状態変化時には話し合いを重ねておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容（外部評価のみ）
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 事故の事例についてはしっかり話し合い、今後の防止に役立てている。 薬については、完全にスタッフが管理し、転倒等の危険のある人には付き添うように心掛けている。 消防署の職員に来て頂き、定期的に防災訓練や救急訓練、ＡＥＤの講習を行っている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練は定期的に行い、改善すべき所は指導して頂き、落ち着いた行動、利用者への声掛けの大切さ等を学んでいる。 その際、地域の人にも協力をお願いしている。 (外部評価) 避難訓練時、夜間を想定した訓練や通報訓練を実際にされた。いざという時には、隣接のアパートの住人が駆けつけてくれるようになっている。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉使いや尊厳に心がけ、プライバシーの保護のために、個々の記録には他の個人名などを記入していない。 (外部評価) 職員は、利用者の居室に入る際にはご本人に「入ってもいいですか」と声を掛けてから入室されていた。利用者に対する言葉かけは、声のトーンにも気を付けておられ、穏やかに話しかけている様子がうかがえた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の希望される支援に心掛けている。 また、本人の理解出来る範囲の説明は行い、納得して頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来る限り、１人１人のペースに合わせるようにはしているものの、時折本人が出来る事を介助し、職員の都合を優先してしまう事もある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 化粧や手入れなど詳しいスタッフが支援したり、美容院へ出掛けたい人については、希望通りに支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者によって普通食・キザミ食など、本人に合った食事を提供し、食事の準備等、一緒にしている。 (外部評価) ご自宅で使っていたお茶碗で食事をされている方もある。配膳や下膳をされている方もある。利用者の希望するメニューをお聞きして職員が献立を作っておられる。野菜は事業所の畑で採れたものも使用して、おやつも、出来るかぎり、手作りに心がけておられる。おもちが好きな方には、職員が付き添って様子を見ながら食べられるように支援されている。	施設長は、利用者がもっと食事作りにかかわれるよう支援していきたいと考えておられた。煮物等、利用者に教えてもらいながら調理する等、利用者がお好きなものが食べられるような支援に努めたいと話しておられた。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食、バランスの取れた食事を食べやすく調理している。　　また、個々の食事量を調整し、記録を残している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後自力で出来る方には口腔ケアの声掛けを行い、実施して頂いている。 また、自力で出来ない方は出来ない所を介助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	**(自己評価)** 尿意・便意を感じにくい入所者に関しては、排泄パターンを見極め、声掛けをするようにしている。 **(外部評価)** 利用者の排泄パターンに沿って、トイレに誘導されている。職員は、利用者への声かけのタイミングにも気を付けておられる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	**(自己評価)** ３日間排便が無い時は医師指示の下剤を投与している。 また、繊維質の多い食物を多く摂取したり、水分の調節や適度な運動に心掛けている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	**(自己評価)** 本人に希望を聞き、時間を調整しながら支援している。 夏場は２日おき、冬場は３日おきに実施。 必要に応じて足浴も行っている。 **(外部評価)** 車椅子を利用されている方も浴槽で温まることができるような浴槽を整備されており、利用されている方もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	**(自己評価)** いつでも居室にて休む事が出来る。 休む際、居室の温度等調整し、心地よい環境作りをし、休んで頂けるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 （外部評価のみ）
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) どんな薬を飲んでいるかは薬の説明書を見て確認をしている。また、カーデックスで減・増の薬の変化を確認し、服薬確認表で毎回チェックしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 食事の準備、洗濯物をたたむといった役割等、して頂く事はあるが、生活歴を活かした役割というのは確立していない。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候の良い日には戸外へ散歩に出かけたり、買い物を希望する人は出掛けられるよう支援している。また、お花見・動物園・蛍狩り・買い物等、四季折々の行事に外出を行い、その際家族の方へご案内し、参加して頂いている。 (外部評価) 利用者と一緒に買い物に出かけたり、天気の良い日には、おにぎりを持って事業所前にある運動公園に出かけ、外での食事を楽しまれている。ご家族参加で地域包括支援センターよりバスを借りて、レストランでの外食やお買い物等に出かけられたこともある。近所の散歩等も出かけておられる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 欲しい物をお聞きし、買ってきたり、自分でお金を持っての買い物も支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば実施出来るよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項　　目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容（外部評価のみ）
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 四季折々の飾りつけや、室温調整、音への配慮等、スタッフが試行錯誤しながら利用者の方が自分の家のように暮らせるよう工夫している。 (外部評価) 玄関には季節の花が生けられていた。壁には行事の写真（レストランでの食事風景、花見等）が飾られていた。新聞を読まれている方、畳の間で洗濯物をたたまれている利用者も見られた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 気の合った人同士、居室に出入りをしたり、リビングで気軽に会話をしたり、ベランダに腰掛けたりと自由にくつろいでいる。 また気分を変えて各階に行き、交流している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 個人の使い慣れた家具が置かれ、好みの空間を作り出している。 愛用の物を自分らしく使っている。 (外部評価) テレビや馴染みの家具等を持ち込まれている方もある。千代紙を張って箱作りされたり、お孫さんの書を張られている利用者も見受けられた。居室の入り口には利用者の写真が飾られ、自分の居室が分かるように配慮されていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) トイレ・浴室などには手作りで分かり易いよう表示したり、居室の入口には写真や名前の書いて表示し声掛けによる誘導を行い、自立支援している。	